

平成 29 年度自己評価結果

作成 アケミ幼稚園

1、本園の教育目標

少人数制を導入し、きめ細やかな教育を行うことで、自信を持った心豊かなこどもに育つことを目指している。また、幼児の主体的な活動である遊びの時間を重視し、自然豊かな園庭での異年齢の友達との関わりや、先生との信頼関係を大切にする事で、今後の人生の基礎となる、心を育て、社会力が身につく幼児教育を目指す。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

保護者のニーズを確認し、本園の担う役割を知り、より理想の教育目標に近づけるように検討する。本年度も保護者との連携を大切にする事で、家庭と本園が一体となり、より幼児が成長できるように工夫し続ける。

小学校教育がスムーズにいくように、小学校との連携を高める。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
一人ひとりの幼児の成長を援助するため、全教職員が、共通理解を持ち関わる。	保護者との連携をはかり、家庭と本園が一体となって、保育できるようにすると共に、一人の幼児に対して、全教職員が共通の思いを持ち関わることで、成長を援助出来るように、日々話し合いを行っている。
教育の質を向上させるために、園内研究保育を充実させる。	他の先生の保育を研修し全教職員で意見を交わし合うことで、日々の保育を振り返り、教育の質を向上させることを目標に園内研究保育を実施している。
保護者のニーズを把握し、改善につとめる。	保護者との懇談会を定期的実施し要望を把握すると共に 常に改善に努めた。
安全確保の強化と園舎塗装	特に防犯対策として、防犯カメラの増設を行った。 園舎外壁塗装を行い同時に小修繕を行った。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

課題について全職員が理解し、自己評価したのち、取組状況を話し合うことで、本園の方針を明確にでき、今後もより良い園にする為に継続して、取り組むことを共通理解とすることができた。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理の強化	災害対策として、避難先と連携をとり、共同で避難訓練を行う。 安全に対し、より一層検討をしてゆく。
特別支援教育	個別の指導計画の作成を検討すると共に、医療・福祉など関連機関との連携をどのようにするかを検討する。
延長保育の充実	かねてから要望を理解しているが、長期休暇中の預り保育については引き続き検討を続ける。

6、学校関係者の評価

別途 評価完了次第掲載する

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。